

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.11.15 No. 246 連絡先 FAX 042-555-1911



## 横田基地で 日米合意違反 F-16、C-130、C-12が、深夜 轟音！

日米で飛行制限時間としている 22 時から 6 時までの時間帯に、11 月 1 日から 2 日にかけて、米軍機が 7 機、横田基地を離着陸しました。三沢基地の F-16 戦闘機 2 機、横田基地の C-12 要人輸送機 1 機、横田基地の C-130 輸送機が 4 機です。F-16 戦闘機 2 機は、21 時 47 分と 49 分に着陸して 23 時 32 分に離陸しましたが、多くの住民が爆音のひどさに驚きました。

そして、翌日 2 日の 22 過ぎから 3 日の 6 時までは、C-130 輸送機 10 機、C-12 が轟音を響かせ離着陸。3 日から 4 日にかけては C130 輸送機が 4 機でした。

深夜、早朝の飛行について、「赤旗」紙の問い合わせに、横田基地第 374 空輸航空団広報部は 6 日、1 日から 7 日まで韓国で実施している米韓合同演習「ビジラント・エース 16」に関連したものだとの認めたそうです。韓国での演習は、兵員 1 万 6 千人が参加する大規模演習です。

烏山（オサン）空軍基地を中心に、夜間の戦闘機・攻撃機（F-15、F-16、A-10）の訓練、嘉手納基地からの C-130、C-17、KC-135 による輸送訓練が行われたようです。

## 大規模な米韓合同演習ビジラント・エース 16 に 横田基地が使われる

横田基地に 10 月 30 日午後、カリフォルニア州空軍の C-130J-30 (右上写真) が 2 機と、アラスカ州空軍の C-130 輸送機 (右中写真) 2 機が着陸しました。米韓合同演習に参加するために、米本土から米軍機が横田基地に飛来したのです。



11 月 1 日には、6 時過ぎにアラスカの 2 機が離陸、8 時過ぎにはカリフォルニアの 2 機が離陸、昼までに横田の C-130 輸送機 4 機が離陸しました。8 機が出動です。1 日から 4 日明け方までに横田基地の C-130H は 10 機出動しました。



8 日は 5 時 12 分、49 分と未明から始まり、9 機出動しました。

どちらも、アラスカとカリフォルニアの空軍機が 1 機ずつで、他は横田基地所属です。ほとんどが横田ー烏山ー三沢ー横田で、演習部隊の撤収と物資の運搬でしょう。(写真：烏山基地で横田基地の C130 から降りる米空軍三沢基地の兵士)



命脅かすオスプレイは横田基地に来るな！

STOP！「戦争する国」11・21(土)大集会

会場：多摩川緑地・福生南公園(拝島駅徒歩 20 分)

文化行事:13 時 開会:13 時 30 分 是非ご参加を

横田基地で 14 日(土) 人員降下訓練

実施日時:2015 年 11 月 14 日(土)

通常の運用時間帯(6 時～22 時) の範囲

防衛省(北関防衛局)からの情報提供

## 米軍制服組トップのダンフォード統合参謀本部議長横田に (No. 246 の裏面)

米軍の制服組トップの統合参謀本部議長・ダンフォード海兵隊大将(写真)は、就任(9月25日)後、初めて日本を訪れ、11月3日は横田基地を訪れました。

統合参謀本部議長は、3日横田基地で、在日米軍司令官と話し合い、4日は自衛隊員や米軍の飛行士らと話し合う時間をとりました。右下の写真は4日、航空医学的避難訓練指導をしていた飛行士に、準備の重要性についてコメントするダンフォード統合参謀本部議長。(米空軍HPより)



また、ダンフォード統合参謀本部議長は4日、防衛省で、自衛隊トップの河野統合幕僚長と会談。この中で河野統合幕僚長は、

「アジア太平洋地域は厳しい安全保障環境にあり、日米同盟がこの地域の平和と安定に寄与する度合いが高まっている。新しい日米の防衛協力の指針、ガイドラインが策定され、日本では安全保障関連法が成立し、同盟関係をより一層深化させたい」と述べました。



これに対してダンフォード統合参謀本部議長は、「アメリカ軍と自衛隊の協力関係が今ほど重要なときはない。直面する厳しい課題や状況のなかで、日米同盟をより深化させていきたい」と述べています。

### サムライ即応監査は ビジラント・エース16を支援

韓国でのビジラント・エース16が始まった11月1日から8日まで、横田基地所属のC-130Hは12機が出動、フル稼働でした。(写真上から横田基地の医療訓練、夜間の機体点検「1日24時間1週7日いつも働いている」、韓国での訓練、烏山基地で待ち伏せ場所に滑り込む兵士 米軍HP)



11月1日～4日深夜離発着異常の件について奥富福生市議は、市に文書による回答を要請していましたが、10日に回答が届きました。横田防衛事務所からの回答は、職員による聞き取りです。以下に記載。



「今回の横田基地におけるSRI(サムライ即応監査)においては、太平洋地域における演習ヴィジラント・エースを支援しており、ご照会のあった航空機もこれに関したものです。将来起こりうる人道支援や災害救援活動等の態勢を整えておくことは、米軍とその同盟国にとって大きな利点です。また頻繁ではありませんが、西太平洋の空輸ハブである横田基地は、給油を必要とする飛来機から緊急に支援を要請されることもあります。周辺自治体の不安や憂慮は理解しておりますので、航空機騒音の影響をできるだけ少なくするよう努力します。今件に関する周辺自治体の皆様のご理解とご支援に感謝いたします。」以上。日米合意違反の深夜飛行を正当化、許せません。



### いつでも列車で燃料を受け取れるのは 横田基地だけ 給油目的飛来多い

横田基地で使用するジェット燃料は、横浜の浜安善から南武線や青梅線を使って横田基地まで運ばれてきます。拝島駅近くの五日市街道に、横田基地に燃料を運ぶ引き込み線の踏切があります。横田基地は、列車で、いつでも燃料を受け取れる、日本で唯一の基地なのです。横田基地には潤沢に燃料が備蓄されています。(写真は米軍横田基地HPより)

